

予算常任委員会会議録

1 開会日時 令和5年3月14日（火）午前10時0分

2 閉会日時 令和5年3月14日（火）午後1時21分

3 会議場所 熊山支所大会議室

4 出席委員

1 番 牛尾 直人君	2 番 鼻岡 美保君	3 番 安藤 利博君
4 番 永徳 省二君	5 番 大森 進次君	6 番 佐藤 武君
7 番 佐々木雄司君	8 番 光成 良充君	9 番 保田 守君
10 番 大口 浩志君	11 番 治徳 義明君	12 番 原田 素代君
13 番 金谷 文則君	14 番 松田 勲君	15 番 福木 京子君
16 番 佐藤 武文君	17 番 下山 哲司君	

5 欠席委員

なし

6 説明のために出席した者

市 長 友實 武則君	副 市 長 前田 正之君
教 育 長 土井原康文君	総合政策部長 山本 幸治君
総 務 部 長 入矢五和夫君	財 務 部 長 戸川 邦彦君
市民生活部長 杉原 洋二君	保健福祉部長兼 介護保険課長 谷名 菜穂子君
建設事業部長 高橋 渉君	産業振興部長 是松 誠君
教 育 次 長 有馬 唯常君	消 防 長 井元 官史君
赤坂支所長兼 市民生活課長 小坂 憲広君	熊山支所長兼 市民生活課長 矢部 恭英君
吉井支所長兼 市民生活課長 遠藤 健一君	会 計 管 理 者 中永 光一君
商工観光課長 大崎 文裕君	農 林 課 長 矢部 勉君
上下水道課長 中務 浩行君	建 設 課 長 福圓 章浩君
農 林 課 参 事 三田 義雄君	地域整備推進室長 森本 祐司君
赤坂支所 産業建設課長 石井 徹君	熊山支所 産業建設課長 砂子 武久君
吉井支所 産業建設課長 岡田 浩司君	

7 事務局職員出席者

議会事務局長 土井 常男君	副 参 事 逢坂紀美子君
---------------	--------------

8 審査又は調査事件について

- 1) 議第13号 令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第10号）
- 2) 議第14号 令和4年度赤磐市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 3) 議第15号 令和4年度赤磐市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

- 4) 議第 1 6 号 令和 4 年度赤磐市介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)
- 5) 議第 1 7 号 令和 4 年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算
(第 2 号)
- 6) 議第 1 8 号 令和 4 年度赤磐市下水道事業会計補正予算 (第 1 号)
- 7) 議第 1 9 号 令和 5 年度赤磐市一般会計予算
- 8) 議第 2 0 号 令和 5 年度赤磐市国民健康保険特別会計予算
- 9) 議第 2 1 号 令和 5 年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算
- 10) 議第 2 2 号 令和 5 年度赤磐市介護保険特別会計予算
- 11) 議第 2 3 号 令和 5 年度赤磐市訪問看護ステーション事業特別会計予算
- 12) 議第 2 4 号 令和 5 年度赤磐市宅地等開発事業特別会計予算
- 13) 議第 2 5 号 令和 5 年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計予算
- 14) 議第 2 6 号 令和 5 年度赤磐市財産区特別会計予算
- 15) 議第 2 7 号 令和 5 年度赤磐市水道事業会計予算
- 16) 議第 2 8 号 令和 5 年度赤磐市下水道事業会計予算

午前10時0分 開会

○委員長（松田 勲君） 皆さん、おはようございます。

それでは、昨日に引き続き、ただいまから予算常任委員会を開催いたします。

説明、質疑の折は、昨日も言っておりますが、ページ番号を言ってから、明瞭簡潔に発言をお願いしたいと思います。

なお、昨日も申しましたが、質疑につきましては、それぞれの常任委員は所管部分に関しての質疑を原則行わないように申し合わせておりますので、御理解くださいますようよろしくお願いいたします。

また、換気のためドアの開放を行い、適宜休憩を取りたいと思いますので、御協力をお願いします。

それでは、産業建設常任委員会関係について、ただいまより審査を行います。

まず、議第13号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第10号）について審査を行います。

議案書の57ページからでございます。

執行部から補足説明がありましたら、部ごとをお願いしたいと思います。なお、説明は補正予算書及び説明資料のページ番号を言ってから行うようにお願いいたします。

それでは、補足説明がございましたら、執行部のほうからお願いいたします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、農林課の所管部分につきましての補足説明がございましたのでさせていただきます。

まず、歳入でございます。

補正予算書の18ページ、19ページ。通し番号は74ページ、75ページです。それから、補正予算説明資料のほうは8ページ、9ページになりますけれども、進めてよろしいでしょうか。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。お願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 17款2項4目の農林水産業費県補助金を御覧ください。農林水産業費県補助金の減額は、関係します補助事業の実績見込みによるものでございます。

それから、補正予算書20ページ、21ページ、通し番号は76ページ、77ページになります。予算説明資料のほうは8ページ、9ページ。

20款1項3目その他特定目的基金繰入金には、地域食材供給施設基金を廃止したことによる繰入金を計上しております。

それから次に、補正予算書の22ページ、23ページ、通し番号は78ページ、79ページ。予算説明資料のほうは10ページ、11ページ。

23款1項8目過疎対策事業債では、松くい虫等防除事業に係る過疎対策事業債を減額しております。

次に、歳出でございます。

補正予算書の24ページ、25ページ。通し番号は80ページ、81ページページになります。

○委員長（松田 勲君） 課長、すいません。

○農林課長（矢部 勉君） はい。

○委員長（松田 勲君） 予算書のほうは通し番号でお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 分かりました。

補正予算書の通し番号80ページ、81ページ。予算説明資料は12ページ、13ページを御覧ください。

2 款 1 項16目特定目的基金費には、森林環境譲与税基金への積立金を計上しております。

それから、補正予算書通し番号86ページ、87ページ。予算説明資料は16ページ、17ページになります。

6 款 1 項 1 目農業委員会費の減額は、システム保守の委託料の減額でございます。

それから、同じページの6 款 1 項 3 目農業振興費の減額につきましては、農業次世代人材投資事業補助金等の減額でございます。

次に、通し番号88ページ、89ページ。予算説明資料は18ページ、19ページ。

6 款 2 項 1 目林業総務費の減額は、所有者意向調査委託料の減額です。

それから、同じページの6 款 2 項 2 目林業振興費の減額は、松くい虫特別防除事業委託料の減額です。

歳入の基金繰入金以外は、いずれも事業費の確定や決算見込みによるものでございます。

以上、令和4年度の補正についての補足説明でございます。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

他にございますか。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、引き続き商工観光課所管部分につきまして補足説明を行います。

補正予算書では通し番号の88ページ、89ページ、補正予算説明資料では18ページ、19ページからお願いします。

7 款 1 項 2 目商工振興費、エネルギー価格等高騰対策事業者支援補助金では、コロナやエネルギー価格高騰などの影響を受けている市内の中小企業、個人事業主を対象として支援する事業でございます。法人で上限20万円、個人事業主で5万円の補助を予定しており、現在、商工会などの御協力をいただきながら準備を進めております。なお、この予算につきましては、次年度への全額繰越しを予定しております。補正予算書62ページに一覧表がございますので、後ほど御確認いただけたらと思います。

次に、7款1項3目観光費につきましては、議場で説明のとおりでございます。

以上で商工観光課所管部分に係る補足説明を終わります。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

続けて、説明を受けます。

○建設事業部長（高橋 渉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 高橋建設事業部長。

○建設事業部長（高橋 渉君） 建設事業部所管部分につきましては、本会議場での説明のとおりで、補足説明はございません。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

他にございませんか。大丈夫ですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） 執行部の説明が終わりました。

それでは、歳入歳出についての質疑を受けたいと思います。

質疑はございませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 説明書8ページになるんだと思うんですけど、一番下の欄、4,600万円ほどの基金の繰入金のことです。

まず、基金廃止に伴うものだというふうな説明があるんですけども、なぜ今基金廃止なんでしょう。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま大口委員から御質問いただいた件でございますけれども、これは旧赤坂天然ライス、これが今回条例廃止になると思いますけれども、それに伴うものでございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 大口委員、よろしいか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） なぜ今かを問うています。

○委員長（松田 勲君） 再度答弁をお願いします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 先ほど、農林課長の説明と重複しますが、今議会で旧赤坂天

然ライス、こちらの施設の設置条例につきまして、天然ライスを廃止する提案をさせていただいております。基となる施設がなくなりますので、それに関わる基金条例も廃止ということになっております。

以上でございます。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 建屋等に残ると思います。改めて、この基金条例そのほかを久しぶりに読み返しましたが、改修ですとか修繕等に使うことができると。それとともに、現状のまま仮に置いていたとしても、そこからそのお金を手続を踏めば使うことができるというようなこともあったと思いますし、ある意味個人的には建物がなくなるときに一緒にしとくほうがよりすっきりするのではないかなと、いつの時期になるかは分かりませんがと思うんですけど。

○委員長（松田 勲君） これ、答弁できますか。普通財産になるからじゃないんですか。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 恐れ入ります。趣旨を読み取れなかったもので、質問をもう一度お願いします。

○委員長（松田 勲君） 再度、では大口委員、よろしくお願いします。

○委員（大口浩志君） すいません。

私の捉え方とか、伝え方がまずいかもしれませんが、たしかこれ、合併する際に1億3,000万円の基金を積んで合併をしようと思います。今でこそあまり第三セクターという単語を耳にする機会がなくなりましたが、残しておけば、またこれを廃止するときに示唆に富んだ事業であったと、プラス面もマイナス面も含めて。改めて振り返る勉強になるようなことではなかったかなというふうに思うんですけど、それと例えば、仮に1桁違って460万円ほどでしらないんですけど、ちょうど何となく微妙な金額なので、例えば将来の除却に向けてというような思いがあるんですけど、そんなのは今ここでは聞けないんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 是松部長、理解できましたかね。

答弁をお願いします。

是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 御質問の趣旨が、この基金条例が廃止の後、残高の4,600万円につきまして、この廃止になった施設の将来の除却とか整備のほうに使えるように置いとけないかというような趣旨の御質問だったと理解しております。

先ほど申しましたように、基金条例そのものは、ここで廃止をさせていただくようにしております。その基金を、この予算書のとおり新たに公共施設等整備基金、こちらのほうに積み立てるようにしております。こちらは基金の名前のとおり公共施設の整備に使うということで、

特定の施設に目的を限ってということにはなりませんが、その中で基金は残っていきますので、委員御心配、御質問の点は、この基金の活用でいけるのではないかというふうに考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 大口委員、よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 説明資料の18ページでお尋ねしたいと思います。

林業総務費の一般管理費ですか、委託料が857万円ほど減額されてると思うんですが、所有者意向調査ですよ、これ説明があったかなと思うんですけども、どういう調査をされたのか、併せて金額的に857万円ということで大きい金額なんですけど、減額の理由というのを教えてください。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの佐藤委員の御質問にお答えいたします。

この件は、森林環境譲与税の対象の事業になります。こちらの事業につきましては、人工林を対象として今後整備を進めていきたいということで事業を進めております。毎年、国から環境譲与税が降りてくるんですけども、約1,262万円赤磐市に入ります。それで、実際に人工林をお持ちの所有者に、今後市のほうに所有される森林を預けて整備なさる、整備というか管理なさるその意向があるかどうか、そういったものをお聞きしとります。それが終わりますと、御意向に沿って今度は整備計画を立てます。さらにそれができると、今度は施業に移っていくんですけども、その過程での委託料でございます。今年につきましては四百数十万円の委託料で済みましたので、これは速やかに基金に積み立てまして、今後の施業等に役立てるということで考えております。

以上です。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 国からの補助金が1,200万円ほど入るということで、国へ返納する必要はないんですね、これは。

○委員長（松田 勲君） 答弁、お願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） これは、基本的には残った金額は基金として積立てなさいという決まりがございます。それに沿って、赤磐市のほうもそういう運用をさせていただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

他にございませんか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 林業振興費の松くい虫等防除事業の減額の部分、どのぐらい……。

○委員長（松田 勲君） すいません。ページ数をお願いします。

○委員（保田 守君） 18ページです、説明書の。

この500万円というのは、どのぐらいの面積が減になつとんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 松くい虫の防除事業につきましては、毎年事業のエリアにつきましてはいろいろ検討しております。令和4年度の当初の予算につきましては459ヘクタールを考えておりましたが、実際に事業しましたのは305ヘクタールになりました。ですから、令和4年度は305ヘクタールを行ったということになります。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

保田委員、よろしいか。

○委員（保田 守君） はい、よろしい。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） それでは、説明資料の18ページ、19ページにございます商工費の商工振興対策事業、これ1億2,270万円でエネルギー価格等高騰対策事業者の支援補助金というふうになっております。先ほど法人事業者に20万円、個人事業者に5万円を支援金として補助するという話がありました。これは商工会のほうにお願いをして一緒に協力していくということなんですが、商工会に入っていない事業者、この方にはどういったお知らせ、周知をされていくのかお聞かせください。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） こちらのほうですが、PRといたしましては、やはり市のホームページ、それからあと商工会との協議になろうかと思いますが、商工会のホームページ、それからチラシなどの作成をやれたらなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 今、ホームページとチラシっていうふうに言われました。チラシについては置いておくだけですか。それとも、事業者のほうに配付するとか、そういった形は考えておられますか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） まだ、現時点で商工会との詳細な詰めができておりませんので、今後、そういったところ、商工会と詰めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） ぜひ、漏れなくしていただきたいと思いますので、その辺よく考えて事業のほう進めていただきたいと思いますので、お願いいたします。

○委員長（松田 勲君） 答弁よろしいね。

○委員（光成良充君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今の事業に関して、まだ打合せ途中ということなんですけど、大体の事業としてのスタート時期、それに伴うスタートがあれば締切りがあると思うんですけど、いつ頃に補助金の絡みも含めて設定されとんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） まだ詳細なところを商工会とも詰められていないので、なるべく早い時期に事業のほうを始めていきたいと考えております。

それから、一応締切りのほうですが、9月または10月ぐらいで事業者に届けられたらなというふうに考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございますか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 説明資料の16ページの地域おこし協力隊事業なんですけど、これが多分3人予定されてたのが来られなかったということだと思んですけど、これ募集されたけど来られなかったということなんでしょうか。それとも、募集しないということはないと思うんですけど、そのあたりいかがだったんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの安藤委員の御質問にお答えいたします。

地域おこし協力隊につきましては、やはりコロナの感染症もございましたけども、それによりまして募集のほうも差し控えさせていただいたのが現実でございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） その件で……。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、もう一回ですか。

○委員（安藤利博君） 同じ地域おこしの件で。

○委員長（松田 勲君） では、安藤委員。

○委員（安藤利博君） 3年延長までできるということなんですけど、現在分かりましたらですけど、述べて何人ぐらい来られたか、今何人ぐらい、延長期間含めて、3大都市圏から来られている方だと思うんですけど、いらっしゃるんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま安藤委員からいただいた地域おこし協力隊の御質問でございますけれども、今まで、農林課のほうの所管につきましてですけれども、4名の方がいらっしゃいました。今、活動なさっている方はいらっしゃいません。お答えになったでしょうか。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございますか。

福木委員。

○委員（福木京子君） 補正予算書の62ページの繰越明許費の中に、土木費の都市計画費に住宅リフォーム補助事業850万円というのがありまして、あと説明資料の65ページに、その内容で安心・快適住宅リフォーム事業補助金ということですが、このあたりを説明願いたいと思います。繰越しになったということと、あと条件、どういう状況になりますでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） リフォームの繰越しについての説明をさせていただきます。

こちらの予算につきましては、10月の臨時議会のほうで補正の増額をさせていただいております。その状況ですけれども、リフォームの予算時の想定につきましては50件の想定をしておりましたが、現実の応募が12件ということで、想定した件数より少なくなっております。当然、予算のほうも残っておりますので、そちらについて来年度に二次募集を行うための繰越しをさせていただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 12件というのはやっぱり件数が少なくて、これはやっぱり条件とかいろいろなんがあったんじゃないかなと思いますが、繰越ししてそのあたりの条件はどうなりますでしょうか。利用しやすいようにしないといけないと思いますので。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 想定を下回っておりますけれども、その想定を下回った原因を推測させていただいております。

下回った要因としましては、施工の期間が短かったのかなと考えております。年度内での完了っていうのを条件にしておりましたので、こちらの応募が昨年12月の一月に募集をかけて、年度内での、この3月末までの施工期間ということで短くなっていたことが原因だと考えております。

そういう反省点も含めまして、来年度長めの施工期間を設けて、補助金を使いやすい施策に

させていただきたいと考えております。

以上です。

○委員（福木京子君） よろしいです。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 説明資料の16ページ、17ページの上水道費のところに、岡山県広域水道企業団の出資金として970万円減額になってるんですけども、説明に実績見込みにより出資金の減額という意味がよく分からない。企業団に対する実質の、要するに水を買ってる費用は通常どおりだと思うんですけど、この出資金が見込みで減るっていう意味を説明してください。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） 企業団への出資金についての御質問でございました。

この出資金につきましては、企業団に対しましてその年度に行っている建設事業、こちらに対しての出資金という形になっております。令和4年度につきましては、現在吉井川水系の事業としまして瀬戸の供給地点の事業、それから津山浄水場の事業を行っているところです。こちらに対しましての各市町の負担ということで出資金を行っているものです。

令和4年度につきましては、現在水道管、鋳鉄管なんですが、こちらの受注の納期が非常にかかるということから大幅な遅れが生じることが判明しておりまして、工事の一部を令和5年度に延ばしたということによりまして、本年度は減額をして精査をしているということでございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（原田素代君） わかりました。

○委員長（松田 勲君） 他にございますか。

光成委員。

○委員（光成良充君） 説明資料の64ページ、65ページにございます繰越明許費のところで、土木費、住宅費の住宅維持管理事業で、市営住宅の解体工事っていうのがございますが、これは完了予定が9月29日となっております。以前委員会等で聞いたと思うんですが、関係者の転居の手の遅れによる繰越しというふうに説明がございました。これは転居されるということなんですが、現在状況はどのようになっているのか、お聞かせください。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 光成委員の御質問にお答えいたします。

光成委員がおっしゃられたように、以前から転居を希望されておられる方がおりまして、転居後につきましては、1棟全てが空き家となるために解体をするという予定で進めておりましたが、この方の移転先というのが抽せんになるんですけれども、その抽せんになかなか当たらず転居ができなかったため、工事をすることができませんでした。その後、抽せん当たり、12月にほかの住宅へ入居されることが決まりまして、12月末で退去をされたために、繰越しによる解体工事を予定しております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） ということは、工事に入られる準備が整ったと考えていいということなんで、この令和5年9月29日の完了予定なんですけど、これには間に合うと考えてよろしいですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 9月29日までの工期で施工する予定としております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

続いて、議第17号令和4年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算（第2号）について審査を行います。

議案書は167ページからです。説明資料は54ページからです。

執行部からの補足説明がございましたら、よろしくお願いいたします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 議第17号令和4年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計補正予算（第2号）につきましては、本会議場で説明のとおりでございます。補足説明はございません。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑のある方はいらっしゃいますか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 竜天オートキャンプ場、これは事業収入が205万円増収ということで大変喜ばしいことですが、サイト型160万円、デイキャンプが45万円、これは利用者が増加になったための増額だと思うんですけども、昨今のコロナの影響で、このキャンプ場も多分人数が減って収入が減ってきている中で、今回のこの増収っていうのは、どのようなタイミングで増加に転換をしていったのかお知らせください。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 光成委員の御質問にお答えいたします。

令和4年度の当初予算の編成時には、コロナによる施設の利用休止というのが続いておりました。こういったことから、利用者の減を見込んで予算を立てましたが、その後、施設の利用休止ということがなかったものですから、今回予想を上回る施設利用があったというふうに考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

よろしいか。

○委員（光成良充君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、質疑を終わります。

続いて、議第18号令和4年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）について審査を行います。

議案書は179ページからです。説明資料は60ページからです。

執行部からの補足説明がございましたら、よろしくお願いいたします。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） 議第18号令和4年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、本会議場での説明のとおりで、補足説明はございません。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部の説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

それでは続けて、議第19号令和5年度赤磐市一般会計予算について審査を行います。

執行部から補足説明がありましたら、部ごとをお願いします。

なお、説明は予算書及び説明資料のページ番号を必ず言って進めていただきたいと思います。

それでは、執行部のほうから説明をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） それでは、令和5年度当初予算、農林課所管部分を御説明いたします。

まず、歳入からでございます。

予算書18ページから、予算説明資料は6ページからとなります。

2款4項1目森林環境譲与税は、森林整備等の財源となるものでございます。

それから、予算書40ページ、41ページ、説明資料では16ページ、17ページです。

17款2項4目農林水産業費県補助金でございます。この款には、産業振興部と建設事業部の予算が併せて計上されております。産業振興部関係で主なものですが、中山間地域の協定に応じて支払われます中山間地域等直接支払交付金、果樹生産振興事業への補助として地域農業振興補助金、多面的機能支払交付金等がございまして、2節林業費補助金においては有害鳥獣駆除事業への補助として有害獣捕獲強化対策事業補助金、松くい虫防除事業補助金などが含まれております。

以上が歳入の御説明でございます。

歳出に参ります。

予算書の138ページ、139ページ、予算説明資料は78ページ、79ページになります。

6款農林水産業費でございますけれども、この款には、やはり産業振興部と建設事業部の予算が併せて計上されております。

農林課関係で主なものがございますけれども、1項1目農業委員会費には、農業委員の報酬などの農業委員会の運営費を計上しております。

それから、予算書142ページから147ページ、少しレンジがあります。予算説明資料は80ページから83ページにかけてになります。

3目農業振興費でございます。この目には、農業振興施策に関するいわゆる農業の攻めのための予算ですが、この経費を主に計上しておりまして、農作物鳥獣被害防止対策事業、農地集積促進事業、経営生産対策推進事業、日本型直接支払事業、地域おこし協力隊担い手対策事業、その他農業政策の助成事業など、各種事業費が含まれております。

それから、予算書146ページ、説明資料は82ページ、83ページになります。

4目畜産業費でございます。主なものは、負担金、補助及び交付金で、削蹄及び予防注射等に対する補助でございます。

次に、予算書150ページから153ページ、予算説明資料は84ページから87ページになります。

1目林業総務費には、森林環境譲与税を財源として森林経営管理事業費、それから有害鳥獣駆除事業費などを計上しております。

2目林業振興費には、松くい虫等防除事業、石蓮寺森林公園等の管理経費を計上しております。

以上、令和5年度一般会計予算の農林課分、歳出の御説明とさせていただきます。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

続けてお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、引き続き、商工観光課所管部分の補足説明を行います。

予算書は154ページから、予算説明資料は86ページからお願いします。

7款1項2目商工振興費では、企業誘致の推進、工業団地の維持管理、中小企業への経営支援などに要する経費を計上しております。主なものでは、13節委託料、測量設計委託料では令和4年度に引き続きまして企業誘致適地調査を、イベント委託料では例年実施しております起業勉強会や起業ガイドブックの作成委託料などを計上しております。15節工事請負費では、2年に1回の熊山工業団地内の水路のしゅんせつ工事を計上しています。予算書156ページのほうに移っていただきまして、19節負担金、補助及び交付金では、商工会補助金、起業家奨励金、5社6件分の企業誘致奨励金などを計上しております。

続きまして、予算書156ページの中ほどからお願いします。予算説明資料は88ページになります。

7款1項3目観光費では、市内観光施設などの維持管理に係る経費、市や各イベントの実行委員会開催の観光振興に係る経費を計上しております。予算書の158ページへ移っていただきまして、主なものでは13節委託料、イベント委託料では英国庭園のイベントそれから都市圏への観光イベント出展などに係る経費を、企画提案委託料では、3年計画の3年目、サイクリングルートPR事業などの経費を計上しています。予算書の160ページに移っていただきまし

て、15節工事請負費では、竜天オートキャンプ場のボイラー交換工事、山陽産業会館火災報知機更新工事を、それから19節負担金、補助及び交付金では、コロナの関係で委嘱期間を延伸できる見込みであることから、1年間2名分の地域おこし協力隊補助金やあかいわ祭り花火大会など、各実行委員会開催のイベントへの観光振興事業補助金、地域活性化起業人負担金などを計上しております。

商工観光課所管部分の補足説明は以上でございます。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

続けて説明をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） それでは、建設課から補足説明をさせていただきます。

予算書146ページの下段からになります。予算説明資料は82ページの下段からとなります。

それでは、説明させていただきます。

6款1項5目農地費になりますけれども、農道、水路、ため池など、農業用施設の維持管理及び改良に係る経費で、主なものとしまして、ため池ハザードマップ作成委託料、斎富南方は場整備の県営事業負担金、小規模土地改良事業5件に係る工事請負費、ため池改修3件に係る工事請負費などを計上しております。

続きまして、予算書の152ページ、予算説明資料は84ページをお願いいたします。

6款2項2目林業振興費は林道の維持管理及び開設に係る経費で、主なものとしまして、林道高星線開設工事に係る工事請負費を計上しております。

続きまして、予算書164ページ、予算説明資料は90ページをお願いいたします。

8款2項2目道路維持費は修繕、草刈り、剪定など市道の維持管理に係る経費で、主なものとしまして、市道橋の橋梁点検89橋に係る委託料、橋梁修繕工事4橋に係る工事請負費、交通安全施設整備、舗装修繕に係る工事請負費などを計上しております。

8款2項3目道路新設改良費は市道の改良及び新設に係る経費で、主なものとして、岩田長尾線に係る工事請負費などを計上しております。

続きまして、予算書の170ページ、予算説明資料は92ページをお願いします。

8款6項1目住宅管理費は市営住宅の維持管理に係る経費で、主なものとしまして、老朽した住宅の解体工事費用を計上しております。

以上で建設課の補足説明を終わります。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

続けて、説明をお願いいたします。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） それでは続きまして、上下水道課から補足説明をさせていただきます。

予算書は134ページ、予算説明資料につきましては76ページをお開きください。

4款2項1目清掃総務費につきましては浄化槽整備補助事業で、合併浄化槽の設置に係る補助金、令和5年度は35基分を計上しております。

その他、各科目におきまして、水道事業、下水道事業に係る繰出金等をそれぞれ計上しております。

以上で上下水道課関係の補足説明を終わります。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

他にはございませんか。大丈夫ですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） 執行部の説明が終わりました。

それでは、これから質疑を受けたいと思います。

まず、予算書7ページの第2表債務負担行為について質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、続けて、歳出の款ごとに進行をさせていただきます。

なお、歳入につきましては、歳出と関連部分で併せて質疑をお願いしたいと思います。

まず、4款衛生費について質疑を受けたいと思います。

予算書135ページの2項清掃費、19節負担金、補助及び交付金のうち、県合併処理浄化槽普及促進協議会負担金、浄化槽整備事業補助金と予算書の138ページから139ページまでの3項上水道費が産業建設所管部分ですので、よろしくお願いいたします。

予算説明資料は76ページから79ページです。

質疑はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に、6款農林水産業費について質疑を受けたいと思います。

予算書の138ページから153ページ、予算説明資料は78ページから87ページでございます。

質疑はありませんか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 予算書141ページの下段にございます負担金のところに、県穀物改良協会と県農業開発研究所、これ2か所の負担金ですが、それぞれの役割の説明をお願いできますか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

分かりますか。予算書の141ページです。

答弁願います。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 恐れ入ります。少々お時間をいただけたらと思います。

○委員長（松田 勲君） はい。

○委員（原田素代君） 後でちゃんとして。

次……。

○委員長（松田 勲君） 次に行ってもいいですか。

それじゃあ、後でお願いします。

原田委員。

○委員（原田素代君） 同じ農林なんですけれども、予算書143ページのところで、まず報償費ということで地域おこし協力隊員の報償費が出ておりますが、このあと補助金のほうでも地域おこし協力隊に補助金が出てるんですよね。見ると全部セットなんです、地域おこし協力隊の方には。報償費が300万円ぐらいっていうふうに聞いてたんですけど、セットで補助金が出るっていうのはどういう仕組みでしたっけ。ちょっとその仕組みを教えてください。

○委員長（松田 勲君） 再度説明をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 原田委員のただいまの御質問にお答えいたします。

報償費として基本的なものが結局あるんですけども、これは特に地域おこし協力隊の方が生活のために使われたりするお金です。それからあと、事業をやっていくに当たって必要なお金がまた別にあります。これが補助金として支払われます。そういう2本立てになっておりますんですけども、お分かりいただけますでしょうか。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 報償金っていうのはもう一律だと思うんですけど、補助金というのは、例えば具体的に行政との交渉の中で、この事業をこの年度にやりますから、じゃあこの年度はこれだけの補助金をお願いしますって、個別に交渉されて、できてきた金額なんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 協力隊の方一人一人について、年度内に幾らまでの限度というのがやはりあるので、その中で事業をやってくださいということがあります。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） そうしたら、報償金と同じように一律だと理解してよろしいんですか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 上限があると御認識ください。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（原田素代君） 了解です。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 予算書の153ページの委託料の松くい虫特別防除事業委託料が1,624万9,000円。これについては、先ほど補正では面積が減ったから減額とありますが、今回令和5年度はどういう状況になるのか、そこの所を教えてください。

それと関連で、その下に森林病虫害防除事業委託料512万7,000円と、これはある程度セットで事業されるんかどうか、その辺も説明願いたいと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁、お願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの福木委員の御質問にお答えいたします。

まず、上のほうの松くい虫特別防除事業委託料でございますけれども、これにつきましては、名称のとおり松くい虫の特別防除に当たるものですが、面積は先ほど補正のほうでも少し触れましたけれども、基本的には305ヘクタールを事業区域として考えております。主立ったものは、やはりヘリの運用費と、それから薬剤の散布の費用に当たります。

それから、下の森林病虫害防除事業委託料、これにつきましては、結局松くい虫の防除もヘリコプターの薬剤散布だけではないと思いますので、木のほうの伐倒駆除とか、それからあとこれはナラ枯れを最近お耳にされたこともあると思いますけれども、その対応につきましても金額は含まれております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 面積は令和4年度と同じということなんですが、さらにうちもあまりしてほしくないというような声も聞いているんですけど、そのあたりはどういう対応をされて、そういう地域ではそういう声がなかったのでしょうか。そしてここはもうしていただきたくないというようなことはなかったのでしょうか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの委員の御質問でございますけれども、毎年、実施の前には地域の代表者の方に集まっていたいて、御意見も伺っております。そういったところで、地域の御意向というのを一応はちゃんとお聞きしてやっておるつもりなので、すいません、皆様の個人の方の御意見がどういうふうに反映されてるかというのはちょっと分かりませんが、毎年、確認はさせていただいているという御返答にさせていただきます。

以上です。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 必ず意見を聞いていただきたいんですが、面積を減らした上でも支障はないという状況がこれからくると思うんですが、そういう状況も、ほかの地域の方にも知らせていただいて、丁寧な説明もしていただいて、声もよく聞いていただきたいと思いますが、その辺はいかがでしょうか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） この面積を減らしてきた経緯も、やはり山の状況を、ドローンなんかを飛ばして、ちゃんと分析も行っていました。我々事務屋にとっては、その山を簡単にいいよ、悪いよと言えませんので、県の専門職の人にも見てもらってやっておりますので、今後ももちろんそういったことは必要だと思いますので続けてやっております。慎重に事業をやっておりますので、よろしくお願いします。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございますか。

下山委員。

○委員（下山哲司君） その松くい虫の件なんですが、私も地元ですからいろんな意見をお聞きしとんですが、昨年度減面積をするに当たって地域の区長さんに相談をかけて、赤松を守る会のほうには相談がかかってなかったじゃないかというふうにお聞きしとんですが、よそから来とる区長さんがおられたり、それから山を持っておられん区長さんですから、直接、自分

が、ただ区長という立場だけで意見を上げられとって、赤松を守る会の団体とトラブルがあったとお聞きしとんですが、その辺の解消ができて今年度の予算に至っとんか、その辺だけちょっと説明してください。

○委員長（松田 勲君） 答弁願います。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ちょっとお時間いただきたいんですけど、すみません。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 時間がかかるということは、ただその在り方の問題で中身の細かい話じゃないんで、認識ができてないというふうに受け取れるんですが、お聞きしとることに対して答弁できんということは。どういうことですか、それは。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 申し訳ございません。この防除計画につきましては、法律、その他に基づきまして、市のほうで計画を立てております。

その計画を立てる中で、森林の状況ですとか、あるいは地域の皆様の声、そういうものを反映させながらしております。そういう中で、今お話しございました赤松を守る会の方々の御意見も入っているというふうには認識しておりますが、今後、さらに地域の方々の御意見に耳を傾けるように、計画を実施していきたいというふうに考えます。

以上でございます。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 私も地元ですから皆さんの意見をお聞きしとんで、片方ばあの意見を聞いとるという話じゃないんですけど、やっぱり行政として世話をする以上は、地域住民の方々にトラブルの起きんような状況下の中でやっていただかんと、区長さんと赤松を守る会がけんかをしょうるような話をお聞きしとんで、やっぱりそれはどうしてなっとんかということを考えてみたら、よそから来た区長さんがおられる、その区長さんはもともと区長になる前から防除事業に反対をして回られて、ある家から私の家に電話があって、こうこうで来られて言われるんですけどというから、それはもう、そういう問題じゃないんでと言ようられた人が区長さんになってその意見を言うとするわけで、やっぱりそういう辺でもう少しきちっと精査して、山を持たん区長さんとか、よそから来られてその地域のことを知らん区長さんとかの意見が上がってきちっとできるとりというふうな話はちょっと通用せんのではないかと、私は双方か

らお聞きしとんで思うんですが、それはトラブルを作った元なんで、やっぱし事業をやるときには、そういう長年の経緯のあるものに関しては、長年の経緯を踏まえた上で、きちっと説明を双方にしてやっていただかないと、行政の事業としては不適格だというふうに私は思うんで、その辺について考え方を述べてくださいと、こういうことです。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） ありがとうございます。

先ほどと重複しますが、基本は法令に基づきまして、赤磐市が計画を立てて進めております。その中で、地域の方々の御意見というものは十分取り入れていかなければならないというふうに考えておりますので、今後、計画実施に当たりまして、そういうところに気をつけてやりたいというふうに思います。

以上でございます。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） ついでにもう一つ聞いときたいんですが、あそこは電源開発から補助金を、電送を中四国、九州の全線を一か所へ集まった電気を全国につなぐようになって、それから電源開発という国の事業体なんですよ、事業したんが。当時、私も委員でおったんですが、その固定資産税が毎年1億円入るということで、そのことは喜んで私もおったんですが、ですけどそれに絡んで補助金が出るような体制になつとるわけですよ、赤松の、松くい虫の防除ができないから、できない部分に関して補助金をもらつとんです。こうやって減面積していきょうと、その補助金がもらえんようになるじゃないかという話もお聞きしとんで、その辺の解釈はどうせられとんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） すいません。これ直接予算と関係がありますか。

○委員（下山哲司君） 予算、関係あるがな。

○委員長（松田 勲君） 関係ありますか。なかなか難しい問題だと思うんですけど。

答弁できますか。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） ただいま下山委員御案内の電源開発の関係のことも承知はしておりますが、この松くい虫の防除につきましては、あくまで赤磐市の計画に基づいてやっておりますので、先ほどの答弁と重なりますが、地域の方々のいろんな声、それも含めまして今後の計画実施に生かしていきたいというふうに思います。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） ですから、この事業をすることにおいて、今までの歴史的問題も含めて、やっぱり皆さんに理解をいただくような形で進めていただきたいということと言っていて、減しとるのが悪いとかいいとか、私は言いません。言いませんが、その事業をすることにおいて問題が起きることに問題があるんだというふうに思うとんで、私たちの先輩議員が東京の国のほうへ通うて補助金がもらえるように頑張られた事業なんで、だからそれをもう少ししたらやめてしまうんかもしれません。ですが、やめるに至っては、また減面積をするに至っては、やっぱりまだ流れをくんだ人がたくさんおられるんで、その方々にきちっと説明をしていただいて事業をしていただかんと、私は今議員１人でおって、話も両方入ってくるわけですよ。そうしたら、相挟まれてどうにもならんような立場になってしまうんですよ。要するに、行政がやりようる事業じゃから。

行政が委託されてやってないんなら問題ないんじゃけど、行政がやりようる以上はそういうことも踏まえて考えていただいて、事業をやるときには慎重によく説明をして、事業内容が変わるときには御理解をいただいて、双方が納得するように間をとって事業をしていただかんと、何が困るいうて、私たちが一番困る。その辺について、御意見を伺いたいと思います。

○委員長（松田 勲君） なかなか難しい問題だと思うんですけど……。

○委員（下山哲司君） 難しいです。

○委員長（松田 勲君） この件に関してはいろいろ御意見があると思います。委員長として、しっかり地域の声も聞きながら、しっかり検討しながら実施をしていただくということで、要望で終わらせてください。

○委員（下山哲司君） いや、事業することにおいてじゃから、その意見だけ聞いとかなと、こういう考え方でやりようられるんじゃということが言えんのですよ、私たちが。その辺だけ、委員長。

○委員長（松田 勲君） それでは答弁お願いします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

まとめて、簡潔に答弁をお願いします。

○産業振興部長（是松 誠君） すいません。

答弁が重なりますが、この松くい虫の防除事業につきましては、赤磐市が計画を立てて実施しております。その実施につきましては、森林の保全、松山の保全ということを第一の目的にやっておりますので、そういう中で、地域の方々、関係者の方々、様々な御意見を反映させながら、今後計画実施したいというふうに考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） それでは、よろしくをお願いします。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 今、部長のほうから、下山委員の電源開発から補助金が出てる事業だということの質問に対して否定も肯定もされてないんですが、予算書を見ると、要するに県から森林病虫害防除事業補助金として1,100万円出てるだけで、あとは単市の500万円ですよね。それで1,600万円。だから、電源開発補助金というのがそれに絡んで出てるという御意見がありましたけど、市としてはそういう事実は確認されてるんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 先ほどの下山委員の御質問中で、電源開発からその補助金というようなお言葉がございましたが、赤磐市でこの一般会計の予算と電源開発とは全然関係はございません。

以上でございます。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（原田素代君） 委員長、ちょっと確認です。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） ということは、今回の防除については、電源開発の補助金が入っていないというふうに理解していいんですね。

○委員長（松田 勲君） 今回の予算に入っていないということでもいいんですね。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） はい。そのとおりでございます。

○委員（原田素代君） 分かりました。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 説明資料で80ページ、農業振興費の御説明を前段でしていただくときに、攻めの農業ということで力強いお言葉をいただいているいろんな説明をいただいたんですが、その中で、例えば中山間の直接支払制度でありますとか、多面的交付金の制度でありますとか、そういったもののメニューがいろいろ用意はされているんですけども、実際なかなか使われていないのが現状かなと思われま。

そこで、先ほど地域おこし協力隊のこともございましたが、多分これから募集されるんだと思いますけど、そういったことの補助金申請等のお手伝いをしながら地域を知っていただくという部分も含めて、最初何年かのひな形づくりというようなことに地域おこし協力隊のお力を

お借りするようなアレンジとかはできないんでしょうか。一旦始まったところも、世話をする人がいなくなったからちょっと残念ながら諦めますというようなお話も耳にしますし、やっぱり申請書であるとか、その後の報告書であるとか、その辺のハードルが高くてなかなか思ってもできないというようなことをお聞きするんですが、そういったことを地域おこし協力隊の方々とかにお願いをするというようなアレンジはできないんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいま大口委員からいただきました御質問でございますけれども、確かに地域おこし協力隊の方が各地域に入られて、そういう農業振興のために地域の御意見を伺ったり、いろいろ事業をしていくことは可能だと思います。それから、私もよく耳にいたしますけど、やっぱり地元の方が中山間や多面的機能の申請書それから報告書、これを作るのが物すごい苦痛なんだって言われます。実際に役所のほうでも、その報告書などのお手伝いは既にさせていただいておりますから、それ以上のことが要るんなら、今後まず役所に相談していただいて、そういった御意見もどんどん吸収して、前向きに皆さんが使えるように努力はしていきたいと考えております。

以上です。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） そうしたら、今の件もより積極的にフォローしてあげていただけたら、だんだん聞くのに、地域の環境美化等も含めて年々草刈り機を持って出る人数が減るであとか、だんだん人員不足になっていくと、結局はお金で補ってシルバーさんに御厄介なとか、そういうようなことに必然的になっているようですので、その辺はより積極的に出向くような体制を取っていただけたらありがたいです。

○委員長（松田 勲君） 答弁できますか。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 委員おっしゃるとおりです。

赤磐市に限らず、日本全体が今高齢化を迎えて、そういった問題を抱えていると思います。これは、今後この御意見も真摯に受け止めて、いろいろどういうふうにしたらいいかというのは、引き続き具体的に考えていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

他に、ございますか。

それでは、ここで、11時20分まで休憩いたします。

午前11時10分 休憩

午前11時20分 再開

○委員長（松田 勲君） それでは、休憩前に引き続き会議を行います。

ただいまの6款農林水産業費でございますが、他に質疑ございますか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 松くい虫のちょっと関連で聞きたいんですけど、毎年、養蜂やられとる方が移転するという、動かすという経費が入るとるんですけど、これは薬をやられる部分からどのぐらい離れたところへ移動するんだろうかなと。

それから、蜜蜂をやられておる方は規模によったら花を追いかけていろいろ動かれる人も結構多いんで、そういう年中そこで固定して蜜蜂をやられとるんか、私は養蜂家がおられる地域も知らんもんで、どこの地域でやられとるんかというのも教えてほしいし、その人がどのぐらいな量の蜂をやられとって、この移転費の経費というのをどこへ動かして、戻すお金もあるんでしょうけど、差し詰め花の……。

○委員長（松田 勲君） すいません。簡潔に質疑をお願いしたいと思います。

予算書の153ページの移転委託料ですか。この件についてですか。

○委員（保田 守君） この予算についてです。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの保田委員の御質問でございますけれども、予算計上しておりますものが熊山分と吉井分とございます。それで、熊山分については10箇所、それから吉井のほうは35箇所あります。これは、個々にどの程度というのはちょっと把握しておりませんけど、数キロ離れたところへ移動させると聞いております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（保田 守君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 保田委員。

○委員（保田 守君） 当然、蜂が死んだり、異常が出たらおえんからかわさにゃあおえんというのは分かるんですけど、どなたがやられとって、これだけのものを移動したらこのぐらいはかかるんじゃないというはっきりしたものをつかんどられるんですかね。

まあ小さな予算なんだけど、いろんなものを積み上げて一つの予算というものができていくんじゃないから、聞いても分かるんじゃないかなと思って。

○委員長（松田 勲君） 保田委員、委託料の根拠を聞かれているんですか。

○委員（保田 守君） はい。

○委員長（松田 勲君） では、答弁をお願いします。

○委員（保田 守君） だから、これだけかかるから、これだけ頂戴という話で決めとんか。具体的に数字を出しとられるから。

いや、簡単でいいですよ、そうしたら。

○委員長（松田 勲君） 説明できますか。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） この養蜂の移転につきましては、委員の御質問のとおり、空中散布の影響で蜂が死んだりというような影響が出る可能性のあるものについて、移転費を払って移転をしていただいております。その移転が必要な蜂の確認につきましては、これは県の情報もいただきながら、毎年数が変わってきますので、そこを基に移転のお話をさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（保田 守君） よろしい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

光成委員。

○委員（光成良充君） 予算説明資料の82ページ、83ページにございます農林水産業費農業費、農業振興費、015施設管理運営費の中に、農業振興施設の維持管理経費の中に工事請負費2,332万8,000円ございます。この施設維持管理経費の内容について説明をお願いいたします。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 光成委員の御質問にお答えいたします。

こちらは、是里ワインのワイナリーの建物がございますけど、その中の機器等の維持管理の経費でございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 光成委員。

○委員（光成良充君） 維持経費なんですか、工事じゃないんですね。工事請負費ですが。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） 先ほど農林課長申しましたように、是里ワイナリーの設備、こちらの老朽化している物、特にワイン製造の品質管理に係る空調ですとか、タンクの冷却装置、こういうものに不具合が出ております。そういうところの改修の費用でございます。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

他にございませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 私も今それを聞こうと思ってたんですが、説明資料の29ページですけど、過疎対策事業債ということで是里ワイナリー改修事業2,230万円というのが出ておりまして、今の説明ではこの予算でされるんでしょうけど、これはもう過疎対策事業債だけですか、予算は。どのような割合になるんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 福木委員がおっしゃられとるのは財源だと思いますけども、これは過疎債で対応させていただくようなことになっております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） そうしたら、もう全て過疎債でこれは対応されるということですね。

○委員長（松田 勲君） 再度お願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ここに出ている数字のとおりでございます。

以上です。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） それはいいです。

もう一つお聞きしてよろしいですか。

○委員長（松田 勲君） どうぞ。

○委員（福木京子君） 説明資料のほうで83ページに学校給食地場食材利用拡大事業というのがありまして153万2,000円ということなんですが、これでメニュー開発委託料とか、そういう

ふうなんがあったりするんですが、これは今年度はどういうふうな開発をしていこうというふうな、そういう目標みたいなものはあるんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） ただいまの福木委員の御質問です。

メニュー開発につきましては、現場のやっぱり給食センターなどがメインになって考えられる事業でございますので、もちろん私どもの事業の消費拡大というのが、地産地消とかそういったものが目標としてありますから、それに結びつくようなことを考えていただきたいと考えております。

以上です。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 分かりました。地産地消とその推進ということになるんでしょうけど、一つだけちょっと提案というんですか。山陽新聞に2月12日に津山市が作った小麦を生産されて……。

○委員長（松田 勲君） 福木委員、すいません。予算に関することでお願いします。

○委員（福木京子君） そういう関係とかそんな話なんかも出ているんでしょうか。それだけお聞きしたいと思います。多分要望があると思うんですよ、学校給食のパンについては輸入品じゃなくてやっぱり国産の小麦でパンを作ってほしいというような要望もあると思う、そういう話合いなんかもされてるかどうか、お聞きしたい。

○委員長（松田 勲君） 要望があるかどうか。答弁できますか。

○産業振興部長（是松 誠君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 是松産業振興部長。

○産業振興部長（是松 誠君） この予算では、地域の産品をいかに使っていくということを目標にやっておりますので、学校給食の食材の調達についてはちょっとここでは分かりかねます。申し訳ございません。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

光成委員。

○委員（光成良充君） 先ほどと同じです。今の学校給食地場食材利用拡大事業の件です。

説明資料の82ページ、83ページにございますが、153万2,000円、今回事業費で出されておりますが、予算額、これは令和4年度とほぼ同額ということになってるんですが、拡大事業という事業名で拡大がされていっていないというふうに感じるんですけども、多分これ地産地消の推進協議会の中でいろいろ話をされて、地場の食材をどのように供給していくかということ

を考えられてると思うんですけど、これを拡大できない理由っていうのが何かあると思うんですが、その要因っていうのは何を考えられるか教えてください。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 光成委員の御質問にお答えいたします。

市内生産の農作物など、旬に安価で給食食材として提供できる仕組みにつきましては構築はできてると考えておりますけれども、天候不順等により市内産の食材が必要量調達できないこともございます。それからあと、海産物等、市内調達ができない食材の活用には限界がございます。このような状況でございますけれども、生産者、直売所、栄養士等で構成される協議会の中でしっかり協議を重ねまして、引き続き、地産地消の推進を図るべく予算を計上しております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（光成良充君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございますか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 予算書で144ページ、145ページのところなのですが、13節委託料の上段の事業計画書作成委託料の500万円とその下の農振地域整備計画作成委託料200万円、この事業についての御説明をお願いします。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） この予算書145ページの事業計画書作成委託料につきましては、今後さらに、皆さま御存じだと思いますけども、果樹園地の計画なども今進んでおります。そのほかのいろいろな施策の計画をしておりますので、これの計画書作成を考えております。その費用でございます。

それから、農振地域整備計画作成委託料につきましては、これは令和4年度までで総合見直しのほうは一応切りがつく予定なんですけども、それに付随して、まだもうちょっと調整が必要な部分がございますので、それに係る経費でございます。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 果樹団地を含む今後の計画書ということですけど、これはもともと単独の事業計画書として上げてたんですか。要するに、農業政策として、五日市というか、あそ

ことができましたね、就農等支援センターかな。あそこの事業の中に入ってるものではなくて、別途ここで事業計画として予算化してるというふうに理解したらいいんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 今、市が進めております就農等支援センターの事業につきましては、この果樹団地の整備ももちろんそのメニューの一つでございます。

それから、新聞紙上に出ました、今新しい技術の集積のセンターですよ、津崎の土地を活用する、それについてもその事業の一環ですので、これは幅が物すごいあるものでございます。

全部そういったことで、お見知りおきいただけたらよろしいかと思っております。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） そしたら、その下の農振地域整備計画のほうは、令和4年度でこの計画ができるはずなんだけど、微調整があつてこれだけ残ったと、そういうふうに理解したらよろしいんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁願います。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） そうですね。調整の段階の費用ということでよろしく願います。

○委員（原田素代君） 分かりました。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

先ほど、原田委員からの質疑があつたと思うんですけど、答弁できますか。予算書141ページの2つの負担金です。説明できればお願いしたいんですが。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 先ほどいただいた御質問でございます。

141ページの下のほうです。まず、県穀物改良協会負担金、これにつきましては、県内のお米や麦、大豆等の生産性の向上を目的として生産から流通に至る、そういったものを考えていくということを目的とした改良協会の負担金でございます。

それから、下の県農業開発研究所負担金でございますけれども、これにつきましては、先ほど申しました作目以外、さらにそれも含めてですけども、野菜等も含めて研究開発を行ってい

くという、ちょっと平たく申しますとそういった御説明になります。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 原田委員、よろしいか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、質疑を終わります。

それでは次に、7款商工費について質疑を受けたいと思います。予算書は152ページから161ページ、予算説明資料は86ページから89ページです。

質疑はございませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 説明資料の88ページになると思うんですけど、負担金、補助及び交付金の中で地域活性化起業人負担金というのがあるんですけど、これは幾らになるのでしょうか。

それと、間違ってたらごめんなさいなんですけど、これ企業版の地域おこし協力隊というふうにお聞きしたような気がするんですけど、これは派遣といいますか、こういった方が来られるというか、その活動内容を教えてください。

○委員長（松田 勲君） 答弁願います。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 昨年度から引き続きの事業でございます。

本年4月、JALグループから1名着任いただいております。そういった中で、JALグループの人脈を生かした羽田空港内での事業であったり、それから地域おこし協力隊員と協力したミニイベントなどに従事していただいておりますような状況でございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員、よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 同じところですか。ほかの部も一緒なんですけど、今回の説明資料はいろんなのが一緒になって内訳が分からないのでちょっと困ってるんですけど、今の地域活性化起業人負担金、これは幾らになるのか。

それと、もう一つ牛尾委員が一般質問されたんですけど、花火大会されてるんですけど、この花火大会が幾ら予定されているのか。それと、ちょっと付け加えますと、牛尾委員が質問さ

れてたのが、熊山だけじゃなしにいろんな地域でやったらどうかという質問されてたと思うんですけど、そのあたり検討はされたんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁できますか。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、1点目は、地域活性化起業人の負担金が幾らかという御質問だったかと思います。こちらのほうは、予算書の161ページのほうへ560万円という記載がございます。これが全ての金額になります。

それからもう一点、花火大会の件でございますが、花火大会の詳細な内訳ということで、花火大会には800万円を予定しております。また、花火大会につきましては実行委員会がごさいます。こういったところでもお話をさせていただきましたが、やはりあの規模の花火大会ができる場所というのがそうそうあるものではないので、取りあえずは熊山でということと考えておりますが、最終的には、コロナの状況や実行委員会の決定によるものというふうに考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございますか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 予算書の159ページにございますが、委託料の説明を求めたいと思います。

中段からちょっと下、設計・施工監理委託料の50万円とその1つ下の施設管理委託料579万7,000円、これの明細を教えてください。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでは、施設管理のほうの委託料につきましては、施設がたくさんございまして、熊山英国庭園、それから……。

○委員長（松田 勲君） 主だったところだけ挙げてください。

○商工観光課長（大崎文裕君） それでいいですか。あと、赤坂亭でありますとか血洗の滝、それから吉井城山公園の植栽管理などが該当しております。

それから、設計・施工監理委託料につきましては、かやぶき屋根の改修工事の変更設計のほうを見込んでおります。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） かやぶきのほうは了解です。

施設管理委託料っていうのは、これはもう各それぞれの施設ごとに単価が決まっていて、連年この金額になってるということでしょうか。できれば、施設の数ぐらいは教えていただきたいんですけど。

○委員長（松田 勲君） 答弁願います。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 例年ほとんど同じような金額となっております。地元であったり、シルバーであったりの委託になろうかと思えます。数といたしましては9か所になります。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 予算書159ページ。今の委託料のところに企画提案委託料ということで300万円、これは説明でサイクリングルートとかなんとか言われたんですけど、もう少し詳しくちょっと説明願いたいし、これは市内のサイクリングルートなのか。和気や東備関係で一緒にやってるサイクリングの、そういうなんも入ってるんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁願います。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） こちらの企画提案委託料でございますが、令和2年度に、赤磐市内でサイクリングルートを設定いたしております。そのPRで、3年間で計画をしております。来年が3年目ということになっております。今年度は交付金を使っておる事業でございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 説明資料の86ページの商工振興対策事業費の中で企業勉強会等委託料というのがあるんですけど、これ概要版の説明の中では、高校生の市内企業への紹介というふうな事業かと思うんですけど、これもう少し具体的に教えていただけませんか。どこの高校生にどういった内容でされてるのか。

○委員長（松田 勲君） 説明をお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 企業勉強会ですが、例年3月中旬、今年は3月17日に行う予定にしております。

こちらのほうは、就職への予備知識の向上のため、市内企業と近隣高校生のマッチングといえますか、市内企業を知ってもらうような事業となっています。高校1年生、2年生を対象といたしまして、企業勉強会それから企業ガイドブックの作成を行っているようなものです。

大体、例年参加していただいている高校といたしましては、瀬戸南高校それから東岡山工業高校、それからあとは和気閑谷高校なども参加いただいております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 安藤委員。

○委員（安藤利博君） 高校は分かったんですけど、反対の企業のほう、紹介していただいている地元の企業さん、これはどのくらいあるんでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁願います。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 去年、今年についてはオンラインでの開催になっております。そういった関係から、15社に絞らせていただいているような状況です。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（安藤利博君） 分かりました。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 最初に飛んで、歳入のほうの予算書45ページの商工観光課分をお聞きしてもいいですかね。

○委員長（松田 勲君） はい、どうぞ。

○委員（大口浩志君） そうしたら、予算書で45ページ、太陽光発電所用地貸付収入835万3,000円、これが商工観光課が所管だということで、総務でできなかったのでもっとお尋ねをしますが、まずこれって何か所なんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） こちらにつきましては、桜が丘東、それから吉井地区の合田地域、2か所になります。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

大口委員、よろしいか。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 皆さん方もマスコミ報道等で御存じだと思いますけど、だんだんと太陽光発電所としての能力が落ちたり、できなくなったものをほったらかしにして、地域住民が困るとる事例が全国的にぼろぼろ出始めていると思います。ここらの契約等に関しては、もちろん更地にして返すというようなことかなと想像するんですけど、先ほど前段で申し上げましたように、ほったらかしにしてという事例が散見されるようになってきてるんですけど、その辺については、例えばA社が借りている、それが後始末ができなかったら、例えばB社ならB社というような契約になっているんでしょうか。その辺のヘッジはいかがなんでしょうか。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） そちらのほうにつきましては、まず第1点、契約保証金、20年間分の1割を契約保証金として納入いただいております。それから市、事業者、金融機関との間で協定を結ばせていただきまして、太陽光発電こちらの事業の継続のほうは担保されているような状況です。そういった中で、事業者と最終的な更地に戻すという契約がございますが、こちらが担保できているものというふうに考えております。

以上です。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今の御説明では、赤磐市の場合は、ほったらかしにして事業者がいなくなるというような事象に対しては、対応ができているという理解でいいですか。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員おっしゃられるとおりでございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、質疑を終わります。

続けて、8款土木費について質疑を受けたいと思います。予算書160ページから173ページ。予算説明資料は88ページから93ページです。

質疑はございますか。

下山委員。

○委員（下山哲司君） 予算書163ページの美作岡山道路負担金、これはどの区間の負担金になるのでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） こちらの負担金につきましては、全路線の事業費の案分が参っております。なので、吉井地域だけではなくて、ほかの勝英地域であるとか、そういったところの負担金も案分に入っております。

吉井地域に関しまして、来年度の予定としましては、高架橋の下部工事に着手するという予定であると聞いております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） よろしい。続けていいですか。

○委員長（松田 勲君） はい、どうぞ。

○委員（下山哲司君） 8款6項住宅費で、工事請負費で570万円解体工事費、これは、吉井の大池住宅の解体なんのでしょうか。以前も今まで何回も解体をするということでお聞きしたんですが、はや、解体するというてから何年もかかっとなんですが、それが小学生の通学道路べりにあるもんですから、もう幽霊の館みたいなような住宅になっとなで、それに該当しとなのでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 解体の箇所につきましては、下山委員のおっしゃられるとおり、吉井地域の大池団地1棟4戸を予定しております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） その4戸で全部もう完了になるんでしょうか。日にち的にはいつ頃やられるんですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 大池団地につきましては、あと残り1棟になっていると思いますので、こちらの1棟を解体できれば全て解体できることとなります。時期につきましては、はっきりした時期は第2四半期までの発注、9月末までの発注を考えております。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 中へ入られとる人は、荷物も何ものけられとんか、今までにも何回も解体するということでお聞きしとったんですが、三回か四回ぐらい飛んどると思うんですよ、予定が。今回もそういうことにはならんのか、その辺だけはっきり。

○委員長（松田 勲君） 答弁お願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 委員おっしゃられるとおり、何回かまだ後片づけができていないということで、伸びております。今現在につきましても、まだ片づけは完了はしていないんですけれども、完了するという確約を取り付けておりますので、予算計上のほうさせていただいております。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 今までも何回もそういう約束はできとんですができてないんで、今回はもうしないとなれば法的でもかけてでもやるというような決意がありますか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 法的措置も視野に入れて対応してまいります。

以上です。

○委員（下山哲司君） はい、結構です。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 予算書165ページ2目道路維持費の委託料のどこなんですけど、2段目の剪定作業と草刈作業で合わせて約4,700万円の予算になってますが、この対象っていうのを御説明願えますか。基本的には市道のエリアだと思いますけど、どういうところを対象にしているのか教えてください。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 道路の草刈りの場所ですけれども、これにつきましては、全ての市道が対象というわけではございません。通学路であるとか、一般交通の多い市道の路肩の草刈りを実施している状況でございます。

続きまして、剪定につきましては、毎年山陽団地の外周の街路樹、東西桜が丘の街路樹の剪定を行っております。また、地元からの要望に応えるため、支障となりそうなほかの街路樹についても、個別の対応を行っているところでございます。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 通学路周辺と交通量の多い所ということですが、毎年夏頃に大変暑い中、炎天下、道路の周辺の草刈りをしてくださっている作業の方を見受けるんですけど、あの作業の委託料なのかな、どうなのかなっていうのをちょっと確認したいと思います。

それから、団地に対して剪定すると、2,000万円かけて。団地じゃないところが剪定してもらってません。団地だけは剪定するっていうのは、なんかそういう申合せがあつてからのことなんですか。それでこれは山陽団地も桜が丘も同様な対象になってるんでしょうか、御説明ください。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 草刈りに関しまして、本市で発注してる草刈りににつきましては、地元地区への委託、もしくはシルバー人材センターに対する委託をさせていただいております。県道なんかは作業車とかあつてさせてもらってますけれども、県道については県ですが、うちの市道につきましてはシルバーと地元への委託となっております。

それから、街路樹につきまして、山陽団地と桜が丘以外になりますと、熊山地域で街路樹の剪定をさせていただいて、河田原地内の市道に街路樹がありますので、そちらのほうの剪定のほうはさせていただいております。他について、山陽団地の中の中央幹線にも街路樹ありますがけれども、それについては毎年定期的なものは行っておりませんで、支障となったものについて個別に対応させていただいているという状況です。過去の経緯につきましては、すいません、確認できておりません。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 団地との、契約といいますか、申合せというのがあるのかなって漠然とは思ってたんですけど、金額も大きいですし、河田原の場合は対象になってるということですけど、なんか基本的な基準といいますか、例えばここの周辺の剪定はしてもらえないのかっていうトラブルというか、なんか想定できそうな気がして、ちょっとそこを、市がやることと民がやることっていう線引きっていうのはどんなふうになってるんですかね。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 例えば山陽団地の中でいいますと、低木については地元での管理をお願いしているところがございます。高木については市のほうでさせていただくという取決めになっております。

以上です。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 高木で困ってて、民間の方が御自分でお金を払って、造林業者にクレーンで切ってもらったとかという経緯はよく聞くんですけど、そういうのって市に請求できるということになるんですか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） この剪定の委託料に関しましては、街路樹に限るものですので、街路樹で、もし個人のお宅へ支障となっている場合には、個別の対応でうちのほうが伐木をさせていただいております。

以上です。

○委員（原田素代君） 了解しました。

○委員長（松田 勲君） 他にございますか。

大口委員。

○委員（大口浩志君） 先ほど、多分前段で御説明があったのをちょっと聞き漏らしとったんでもう一度お願いしたいんですけど、道路新設改良費の部分について、まず場所はどこのことなんでしょうか。すいません、予算書164ページ、165ページです。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） お尋ねの場所といいますのは、道路新設改良費、需用費から公有財産購入費までございますけれども、どちらのことでよろしいでしょうか。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） 今のところでいいんですけど、土地の購入等も含めて、どの辺に道路の新設ができるのかなというのを教えてください。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今計上させていただいておりますのは正崎橋の関連になるんですけども、現在正崎橋については橋梁の位置の検討を行っておるところでございます。近いうちに地元のほうへお示しできるのではないかという段階まで来ております。地元との調整というのが不可欠になることはもちろんのことですけれども、地元の調整が図れまして、地権者の方と用地交渉が調ったところから用地の買収を行っていきたいと考えております。

以上です。

○委員（大口浩志君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大口委員。

○委員（大口浩志君） あそこへ主に3つ、多分橋があったかなと思うんですけど、いわゆる砂川に直角にかかっている橋の関連という理解でいいんですかね。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 委員おっしゃられるとおりでございます。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（大口浩志君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） これ、河川費も入るんですか。

○委員長（松田 勲君） はい。

○委員（福木京子君） 予算書167ページの河川費の関係なんですが、正崎、上市の砂川の東

側手の工事、護岸の工事なんかが大分要望があって県なんかにもされとんですが、そういう予算というのは今回ないんですか。どこへ出てるんでしょうか。関連の予算は出てますか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 県事業に関しましては、河川事業は基本的には市の負担はございません。ただし、市河川改修の関係で、例えば橋梁が拡張されたり、現況以上のものができた場合には負担金のほうが発生しますけれども、こちらの負担金につきましては、一般的には土木総務費の建設事業負担金のほうでお知らせすることとなると考えております。

以上です。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） だから、その県との関係も予算が入るんでしょうけど、それらの関連の予算が入ってますかというのを聞いとるんです。

○委員長（松田 勲君） 県の事業だからないんですかね。

○委員（福木京子君） 違う。県から入ってくるから、その内容で入ってるかどうかを聞いとるだけです。聞けんことはないでしょう。

○委員長（松田 勲君） 答弁できますか。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 今現在は、河川の関係の負担金は入っておりません。

以上です。

○委員（福木京子君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。ありませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、次に11款災害復旧費について質疑を受けたいと思います。予算書の226ページから227ページ、予算説明資料は136ページから137ページです。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、ここで、休憩を取りたいと思います。午後1時まで休憩といたします。

午後0時4分 休憩

午後1時0分 再開

○委員長（松田 勲君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

続きまして、議第24号令和5年度赤磐市宅地等開発事業特別会計予算について審査を行います。

す。

予算書は宅1からです。説明資料は172ページからです。

執行部からの補足説明がありましたらお願いします。

○建設課長（福圓章浩君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福圓建設課長。

○建設課長（福圓章浩君） 議第24号令和5年度赤磐市宅地等開発事業特別会計予算につきましては、本会議場での説明のとおりで補足説明はございません。

以上です。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑ありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

続きまして、議第25号令和5年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計予算について審査を行います。

説明資料は174ページからです。

執行部からの補足説明がありましたらお願いします。

○商工観光課長（大崎文裕君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 大崎商工観光課長。

○商工観光課長（大崎文裕君） 議第25号令和5年度赤磐市竜天オートキャンプ場特別会計予算につきましては、本会議場で説明のとおりでございます。補足説明はございません。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

続きまして、議第26号令和5年度赤磐市財産区特別会計予算について審査を行います。

予算説明資料は176ページです。

執行部からの補足説明ございましたらお願いいたします。

○農林課長（矢部 勉君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 矢部農林課長。

○農林課長（矢部 勉君） 議第26号令和5年度赤磐市財産区特別会計予算につきましては、

補足説明はございません。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

執行部からの説明が終わりました。

これから質疑を受けたいと思います。

質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

続きまして、議第27号令和5年度赤磐市水道事業会計予算について審査を行います。

予算説明資料は178ページからです。

執行部からの補足説明ございましたらお願いいたします。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） 議第27号令和5年度赤磐市水道事業会計予算につきましては、本会議場での説明のとおりで、補足説明はございません。

○委員長（松田 勲君） 説明が終わりました。

質疑のある方はいらっしゃいませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤武委員。

○委員（佐藤 武君） 先般、新聞報道で水道管の耐震化率ということで、これは岡山県レベルなんですけれども、岡山県がワーストツーということで、非常に耐震化率が遅れているという報道もあったんですが、赤磐市の耐震化率というのは現状どの程度の状況なのか、耐震化率をまず教えていただければと思います。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） 申し訳ございません。ただいま手元に資料がございません。

耐震化率についてはちょっと今分かりかねる状況でございます。

以上です。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 耐震化率は今のところ分からないということなんですけど、建設改良費に2億5,377万円の予算がありますけれども、この中に当然耐震化の予算というのは含まれていると理解すればいいですか。

○委員長（松田 勲君） 答弁をお願いします。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） この建設改良費につきましては、下水道工事に伴う支障管移設、それから配水管の改良工事というものが含まれております。基本的に、現在しております管については、耐震の基準に合った管を入れておりまして、それらは全て耐震化ができていますというふうな形で今進めておるところです。

以上です。

○委員長（松田 勲君） よろしいか。

○委員（佐藤 武君） はい。

○委員長（松田 勲君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わります。

続きまして、議第28号令和5年度赤磐市下水道事業会計予算について審査を行います。

予算説明資料は180ページからです。

執行部から補足説明がありましたらお願いいたします。

○上下水道課長（中務浩行君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 中務上下水道課長。

○上下水道課長（中務浩行君） 議第28号令和5年度赤磐市下水道事業会計予算につきましても、本会議場での説明のとおりでございまして、補足説明はございません。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。

ただいま執行部からの説明がございましたけど、質疑のある方はいらっしゃいませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） なければ、これで質疑を終わりたいと思います。

産業建設常任委員会所管関係について、これで審査を終わります。ありがとうございます。

これで、議第13号から議第28号までの全ての質疑は終了いたしました。

ここで、執行部を交代して採決に移りたいと思いますので、1時15分まで休憩いたします。

午後1時6分 休憩

午後1時15分 再開

○委員長（松田 勲君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいまから、本委員会に付託されました議第13号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第10号）から議第28号令和5年度赤磐市下水道事業会計予算までの16件を採決したいと思います。

採決方法について、一括採決か分割とございますが、御意見ございますか。

○委員（福木京子君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 福木委員。

○委員（福木京子君） 令和５年の一般会計と令和５年の国保だけは別に反対しますので、分割してください。

○委員長（松田 勲君） 国保だけです。

○委員（福木京子君） 一般会計と国保です。

○委員長（松田 勲君） 先ほど、そういうお話がございましたが、それではそのようにさせていただきます。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） それでは、議第13号から議第18号までの６件と議第19号１件、議第20号１件。議第21号から議第28号まで８件までを一括採決をしたいと思います。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） それではまず、議第13号令和４年度赤磐市一般会計補正予算（第10号）から議第18号令和４年度赤磐市下水道事業会計補正予算（第１号）までの６件について一括採決したいと思います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（松田 勲君） 起立全員です。したがって、議第13号から議第18号までの６件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第19号令和５年度赤磐市一般会計予算について採決をしたいと思います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。起立多数でございます。したがって、議第19号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第20号令和５年度赤磐市国民健康保険特別会計予算について採決をしたいと思います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（松田 勲君） 起立多数でございます。したがって、議第20号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

続きまして、議第21号令和５年度赤磐市後期高齢者医療特別会計予算から議第28号令和５年度赤磐市下水道事業会計予算の８件について採決をしたいと思います。

これを原案のとおり決定することに賛成の方は御起立願います。

〔賛成者起立〕

○委員長（松田 勲君） 起立全員であります。ありがとうございます。したがって、議第21号から議第28号の8件について原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で当委員会に付託されました案件の審査はこれで終了といたします。

なお、委員長報告につきましては、委員長に一任していただきたいと思います。皆様よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（松田 勲君） ありがとうございます。それでは、そのようにさせていただきます。

以上をもちまして予算常任委員会を閉会したいと思います。

閉会に当たりまして、前田副市長より挨拶をお願いいたします。

○副市長（前田正之君） 委員長。

○委員長（松田 勲君） 前田副市長。

○副市長（前田正之君） 予算常任委員会におきましては、委員長はじめ、各委員の皆様、大変お忙しい中、3月10日から本日までの3日間、議第13号令和4年度赤磐市一般会計補正予算（第10号）をはじめといたします16議案、関係予算につきまして、慎重に御審査をいただきましたことにお礼を申し上げます。3日間のお礼を申し上げさせていただきまして、閉会の挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

○委員長（松田 勲君） ありがとうございました。

皆様には長時間にわたり大変お疲れさまでした。

これで予算常任委員会を閉会といたします。

お疲れさまでした。

午後1時21分 閉会